

総務大臣メール「Society5.0時代の地方」(AI・RPA等のICTの先進事例の周知)

- 石田大臣の下に「地域力強化戦略本部」を立ち上げ、総務大臣メール「Society5.0時代の地方」を創刊。
- 「Society5.0時代の地方」をキーワードとして、具体的なICTの実装例や導入支援策を各自治体の首長とメールで共有し、地方からも優良事例や必要な施策を提案いただくなど、双方向かつ持続的なやりとりを開始。
- これまで2019年1月25日に第1号、2月28日に第2号を発出。

メール本文

都道府県知事
市町村長
特別区区长 様

「Society5.0時代の地方」(第2号)について

先月1月25日、全国の首長の皆様は総務大臣メールの発刊号をお送りさせていただきました。発刊号では、すぐにも導入可能な革新的技術の導入の実装例の紹介として、多言語翻訳、ドローン、センサー、5Gの事例をご紹介させていただきました。

この取組を始めて以来、私の机の上には、秘書官から関係する新聞・雑誌の記事が毎日のように届けられてありますが、その中にはそうした先進的な事例・技術が溢れています。意識してみると、そのような記事の種類の豊富さ、数の多さに改めて気づかされる毎日です。

最近でも、センサーで子どもの午睡の状況や体の向きを検知する幼児見守りアプリ、いよゆるベビーテック製品の紹介記事がありました。今後も、こうした導入可能な革新的技術などの情報を、皆様にお届けしていきたいと思っております。

今回の第2号では、革新的技術等を導入して取り組んでいる地方公共団体の先行事例を中心として、ご紹介させていただきます。サテライトオフィス、地域におけるAI・RPAの活用、若者の意識の変化を捉えてアプルーチする移住情報サイト、起業を後押しするクラウドファンディングといった全国各地の先行事例に加え、災害情報ハブ(災害情報を関係機関に共有する仕組み)やスマート農業など関係省庁の取組も盛り込んでおります。

こうした情報を参照の上、皆様の直面する地域の課題への検討にご活用いただき、持続可能な地域社会の構築に役立ていただければ幸いです。総務省としても、「Society5.0時代の地方」をキーワードとして、革新的技術の実装例等を首長の皆様と共有し、また先行事例等の提案をいただき、双方向かつ積極的なやりとりを行うことで、Society5.0の進化に伴う「持続可能な地域社会の構築」を目指していきます。

皆様からも、末尾の連絡先まで、是非、導入して成功した例やご意見などをお寄せいただきたいと思います。

平成31年2月28日
総務大臣 石田 真哉

○ サテライトオフィスを利用する企業からの寄稿コーナー
石田総務大臣が訪問、視察した和歌山県白浜町のサテライトオフィス拠点を利用する企業から、そのメリットをご紹介します寄稿をいただきました。
(⇒こちらをクリック) http://www.soumu.go.jp/main_content/000602406.pdf

① AI 住民・企業を応援!
(⇒こちらをクリック) http://www.soumu.go.jp/main_content/000602407.pdf

行政事務を効率化!
(⇒こちらをクリック) http://www.soumu.go.jp/main_content/000602408.pdf

② RPA 行政事務を効率化!
(⇒こちらをクリック) http://www.soumu.go.jp/main_content/000602409.pdf

③ 移住情報サイト 地域の情報を届けよう!
(⇒こちらをクリック) http://www.soumu.go.jp/main_content/000602410.pdf

④ クラウドファンディング 全国からの応援を形に!
(⇒こちらをクリック) http://www.soumu.go.jp/main_content/000602411.pdf

⑤ 災害情報ハブ 災害関連情報をワンストップで!
(⇒こちらをクリック) http://www.soumu.go.jp/main_content/000602412.pdf

⑥ スマート農業 先端技術で生産性向上!
(⇒こちらをクリック) http://www.soumu.go.jp/main_content/000602413.pdf

○ 総務大臣メール「Society5.0時代の地方」の内容等について
お問い合わせいただける関連イベントもございます。
首長ご本人または職員の方にぜひご参加いただけたら幸いです。
(⇒こちらをクリック) http://www.soumu.go.jp/main_sosiki/singi/chiki_honbu/kanren_event.html

※首長に必ずお届けください。
※こちらのHPもご覧ください。
(⇒こちらをクリック) http://www.soumu.go.jp/main_sosiki/singi/chiki_honbu/index.html

※革新的技術の実装例、各自治体の先行事例のご紹介やご意見・ご提案等
ありましたら、以下までご連絡いただけますと幸いです。

宛先:総務省地域力強化戦略本部
(事務局:地域力創造グループ地域政策課)

メールアドレス:society5.0@soumu.go.jp
TEL:03-5253-5523(担当:東理事官、田中係長、岸事務官)

AI 住民に寄り添う職員、増やしませんか?
人とAIのコラボレーションが、よりよい地域を創り出す

行政事務を効率化!

詳細資料はこちら

紹介(ケアプラン)での活用
AIを活用し、ケアプランの作成を支援

保育所入所事務での活用
AIを活用し、保育所入所事務の効率化を実現

AIによる保育所利用調整業務の効率化(埼玉県さいたま市)

保育所の利用調整業務は、申請書の提出履歴や保育所との関係データベースを基にAIが最適な保育所を提案し、保育所との調整業務を自動化することにより、保育所との調整業務の効率化を実現しています。

効果

- 保育所の利用調整業務の効率化により、保育所との調整業務の効率化を実現しています。
- 保育所の利用調整業務の効率化により、保育所との調整業務の効率化を実現しています。

AIを活用した自立支援促進(認知症患者)

認知者の自立支援やケアマネジャーの業務負担の軽減を図るため、AIを活用し、ケアプランの作成を支援する。

効果

- 認知者の自立支援やケアマネジャーの業務負担の軽減を図るため、AIを活用し、ケアプランの作成を支援する。
- 認知者の自立支援やケアマネジャーの業務負担の軽減を図るため、AIを活用し、ケアプランの作成を支援する。

RPA その定型作業、ロボットに代替できませんか?
人間が行っていた定型作業をソフトウェアのロボットにより自動化する

行政事務を効率化!

詳細資料はこちら

市役所、介護保険課の業務での活用
市役所、介護保険課の業務での活用

税務課の業務での活用
税務課の業務での活用

地方自治体におけるAI・ロボティクスの活用事例

○ 第9回地方自治体における業務プロセス・システムの標準化及びAI・ロボティクスの活用に関する研究会（平成31年3月5日）で公表した参考資料における地方自治体におけるAI・ロボティクスの活用事例の一覧。
※☆印については、総務大臣メールにも掲載している活用事例。

- ☆AIを活用した問い合わせへの自動応答サービス（福島県会津若松市）
- AIを活用した住民サービスの充実（岡山県和気町）
- 「港区AI元年」におけるICT導入事例（多言語AIチャットサービス、港区ホームページAI翻訳システム）（東京都港区） 1
- ☆自治体翻訳システムによる自治体窓口業務の効率化（神奈川県綾瀬市）
- ☆AIを活用した観光案内による業務の効率化（福井県永平寺町）
- AIによる道路管理（千葉県千葉市）
- AIによる道路管理の省力化（北海道室蘭市）
- 農業ビックデータのAI解析による農作業の高精度化（北海道岩見沢市）
- GCFを活用したスマート農業推進による一次産業活性化事業（佐賀県みやき町）
- AIによる特定健診受診勧奨モデル事業（沖縄県那覇市）
- ☆AIを活用した自立支援促進（愛知県豊橋市）
- ☆AIによる保育所利用調整業務の省力化（埼玉県さいたま市）
- AI自動応答サービスによる業務効率化（長崎県大村市）
- AIによる自治体職員の業務支援（大阪府大阪市）
- 音声書き起こしソフトによる会議録作成支援（愛知県東郷町）
- AIで職員のパソコン操作ログを分析（兵庫県宝塚市）
- ☆「港区AI元年」におけるICT導入事例（AIによる議事録作成支援、保育所AIマッチングシステム）（東京都港区） 2
- AIによる国民健康保険レセプト内容点検業務支援（福岡県糸島市）

- ☆RPAによる業務プロセスの自動化（茨城県つくば市）
- ☆OCR-RPAによるシステム入力業務の省力化（愛知県一宮市）
- RPAによる自治体業務の省力化（熊本県宇城市）
- 「港区AI元年」におけるICT導入事例（RPA、AI-OCR）（東京都港区） 3
- RPA・AI OCRによる窓口業務改革（和歌山県橋本市）
- RPA導入による業務の効率化（石川県加賀市）
- 自治体業務へのRPA導入スキームの構築（新潟県長岡市）
- RPAによる農地情報の自動入力（福岡県宗像市）